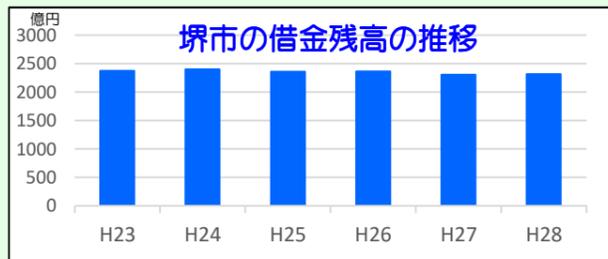




自治体に借金が必要！？

Q. 堺市の借金は増えていないの？
A. 増えていません。横ばいで推移しています。(右図参照)



Q. そもそも借金をゼロにできないの？
A. あえてゼロにはしません。一定の**借金は必要**なのです。

大きな橋を作るとします。橋は何十年も使います。もし、それをキャッシュで一括払いにすると、現時点の納税者が全額負担することになります。

全額負担しても、翌年に遠くへ引っ越される方や、お亡くなりになられる方もいます(その橋を使えない)。一方で、翌年に堺に引っ越して来た方や、将来世代は、負担ゼロで、その橋を何十年も使い続けられます。これでは不公平です。

だから、ローン(借金)払いにし、**世代間の負担を公平**にします。



	堺市	大阪市	政令市平均
実質公債比率 (年収に対する1年間のローン返済額の割合)	5.7% 政令市中4位!	7.9%	9.8%
月収40万円の家庭に例えると、月々返済額は?	2.3万円	3.2万円	3.9万円
将来負担比率 (ローン残高が年収の何倍かを示す割合)	17.5% 政令市中4位!	95.2%	106.0%
年収480万円の家庭に例えると、ローン残高は?	84.0万円	457.0万円	503.8万円

家計に例えると
これを維持できるようチェックしていきます!

Q. では、借金をどんどんしてもいいの？
A. 決してそうではありません。

自治体の**支払い能力(収入)**に応じた**適度な借金**であることが大事です。堺市は、収入に対するローン払いの額、借金残高が他市に比べ低水準で推移しており、健全だと言えます。(右図参照)

借金は必ずしも悪ではない。額の増減より**収入に見合っているかが大事**。おわかり頂けましたでしょうか？

座談会を連続開催

2~3月に、14の校区で市政報告座談会を開催しました。この1年の活動の成果を中心にご報告した上で、ご参加の皆様からたくさんのご意見を頂きました。そもそも、私の活動の成果のほとんどは、市民の皆様からの「声」がきっかけでした。今回のご意見からも、遠からず実現するものもあるかもしれません。出張市政報告会も随時開催中です。お気軽にお声掛けください!



皆様の集まりに呼んでください。数人の集まりでも結構です!

インターン生が来ました

「約2ヶ月間インターン生として、洲上議員のもとで勉強させて頂きました。もともと政治に強い関心があったわけでも、政治の道に進みたいというわけでもありません。しかしこの間に、政治がとても身近なものであり、若者がもっと政治に関心を持たなければと実感しました。たくさんの人とも関わらせて頂き、たくさん経験ができたことで、人として成長できたと感じています。」(近畿大学 総合社会学部 K.H.)



通行環境の悪い地下道を確認市議員(左)とインターン生

ご意見をお寄せください!

FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi@fuchigami.info

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

氏名: _____ TEL: _____
住所: _____

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

ふっちゃんつばやき (編集後記)

息子の保育園のお別れ遠足の朝、「遠足いいなあ」と小学生の姉。「小学校に遠足があるやん。子どもはいいなあ。パパも行きたいなあ」と返したら、「議員さんも遠足あるやん」と。まさか、視察のこと!? ちゃんと仕事して、レポートもインターネット公開されていますからね!



堺市議会議員 (堺区選出)

2018春号

ふちがみ猛志 議会活動報告 Vol.12



- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻 長女8才 長男6才 次男2才
- 堺市立錦小学校 卒
- 堺市立殿馬場中学校 卒
- 大阪府立三国丘高校 卒
- 神戸大学法学部 卒
- 元・半導体商社社員
- 元・衆議院議員政策担当秘書
- 元・堺市長 政務秘書
- 2015年 堺市議会初当選

LINE@
はじめました
@osz7708b



週1,2回、活動情報を配信しています! ぜひ、お友達に登録してください!

T_Fuchigami

お気軽にご連絡、ご相談を!

【ふちがみ猛志市政相談所】

堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi@fuchigami.info
HP: www.fuchigami.info



平成30年度予算 堺が前進!

平成30年度予算が、堺市議会2月定例会において、賛成多数で可決されました。3期目の竹山市政の最初の予算で、市長選で掲げられた公約が、着実に前進するのかが注目が集まりました。「第2子の保育料無償化」「がん検診の無償化」「おでかけ応援バスの拡充」等、主だった公約がそれぞれ実現・前進し、その点は評価できるものだと考えています。また、私自身が訴えてきた施策も、いくつか実現する運びとなりました。「子育てのまち」「シニアにやさしいまち」として高評価を得ている堺が、**また一歩前進**することでしょう。

一方で、まだまだ姿が見えてこないのがまちづくりです。特に堺東の活性化は、「堺東フェニックス計画」を策定するとしたものの、肝心の中身は、高野線の高架化以外は示されていません。まちづくりは一朝一夕にできるものではなく、前市政のLRRT(次世代路面電車)計画を白紙に戻すことから始まった現市政ですが、もうすでに3期目です。一日も早く、このビジョンを示すよう促すと共に、私も積極的に提案を続けて参ります。

視察レポート【森のようちえん】

鳥取県の「森のようちえん」を視察してきました。「森のようちえん」とは、わかりやすく言えば「園舎のない幼稚園」「毎日が遠足の幼稚園」です。鳥取県・長野県が先進的に取り組み、広島県や東京都にも広がりがつつあります。視察の日は、雪が積もる里山ウォーキングでした。「危ない、ダメ、汚い、急いで、これは禁句」とのこと。自然の中の子どもたちが**自由に考え、自分で判断して行動すること**を大事にしています。毎日自然の中に身を置く子どもたちは皆たくましく、元気です。また、いくら自衛隊が制約せずとも、子どもたちの団体行動のルールが出来上がっているのが印象的でした。これに魅力を感じ、「自然の中で子育てをしたい」と、鳥取に移住する若者も増えています。

鳥取とは自然の規模も違いますが、同じようにはいかないかもしれませんが、ただ、ルールだらけの遊具のみの公園ではなく、自由で自然の豊かなプレーパークを整備したり、園児の農業体験をコーディネートしたり、**堺なりに子どもが自然に触れられる機会を増やすよう、積極的に取り組みます。**



朝の会も雪の中で(左)。好奇心のままに自然に触れる子どもたち。

- 第2子保育料無償化へ
- がん検診無償化
- おでかけ応援バス拡充
- 防災・防犯対策強化

他にもたくさん!
詳細は中面へ!

多くの要望・提案が実現しました!



堺が前へ。くらしが前へ。

子育て



■第2子保育料(幼稚園代含)無償化

まずは第2子の**5歳**を無償に！

2018年度	19年度	20年度	21年度
5歳	→ 4歳	→ 3歳	→ 0~2歳

順次拡充!!
※第3子以降は、すでに0~5才で無償化(予定)

■待機児童対策強化

無償化と共に増える保育需要に対応し、受け入れ枠を大幅増

2017年度	18年度
+675	→ +905人

■児童養護施設に乳児棟設置 虐待乳児の一時保護、家庭復帰支援の拠点を市内に初めて設置

■病児保育をさらに充実 訪問型に加え、施設も定員増



初当選1年目に訴えた「多子家庭支援(第3子の保育料低減)」がここまで進むことになり、感無量です。きめ細かな施策の充実にもしっかりと取り組んでいきます！

教育



■トイレの洋式化 災害時に避難所となることも想定

■図書館サポーター増員 小学校で読書習慣。心を豊かに！

■中学校の授業をわかりやすく 各クラスに大型テレビとタブレット



教育は未来への投資！教育環境が少しでもよくなるよう頑張ります！

まちづくり



■南海高野線の高架化 東西交通を妨げる踏切の解消へ

■堺東に機械式駐輪所設置 放置自転車解消、堺東へ自転車で

■大浜体育館建て替え 老朽化体育館がスポーツの聖地に



政令指定都市の玄関口にふさわしいまちとなるよう、堺東の活性化に取り組めます！

健康・福祉



■がん検診の無償化 早期発見、早期治療、健康寿命延伸！

■おでかけ応援バス拡充 年間利用回数の上限を撤廃！

■高齢者の介護予防 高齢者が身近に集える場所を創設



元気な高齢者が増えれば、少子高齢社会も悲観するものではありません！

地域・くらし



■防犯カメラ増設 市内小学校に加え、全中学校にも

■災害時給水設備 指定避難場所になる小学校に整備

■総合防災センター 大災害対応、地域防災の中核拠点に



南海トラフ大地震に備え、被害が少しでも軽減されるよう、万全の準備を進めます！

※紙面面積の都合で詳しく説明できませんが、ご関心のある方はぜひお問合せください。また、この他にもたくさんの新規事業がございます。

ふちがみ猛志の大綱質疑・委員会質疑より

これで児童虐待を防げるか？

子どもの虐待事件が増えています。堺市内でも、平成19年から28年までに、年間の虐待相談対応件数が約2.7倍の1,605件となりました。一方、子ども相談所の職員数は、その間に約1.3倍の増員に留まっています。しかも、増員の大半は非常勤職員です。これでは十分な体制とは言えません。

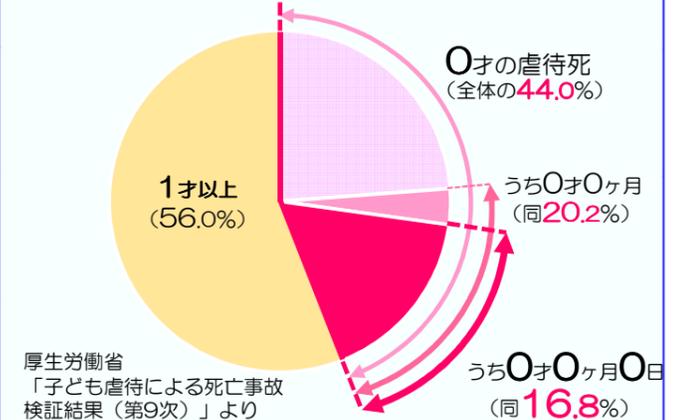
子どもの虐待死で一番多いのは「生まれたその日の赤ちゃん」です。虐待死全体の44%が0才児で、その半分近くが0才0ヶ月、さらにその8割ほどが0才0ヶ月0日なのです。加害者の9割以上が、その子を産んだ母親です。「ひどい母親」と責めることは簡単です。しかし、生まれたばかりの我が子に手をかけるとは、どれほど思い悩み、追い詰められていたのでしょうか。まして、子どもは親を選べません。こうした悲劇を防ぐのは政治の使命です。妊娠期からの継続した寄り添いサポート、里親希望者とのマッチング、里親の普及・啓発・アフターケア等、やるべきことは山のようにあります。そのためにも、まずは**子ども相談所の体制強化(正職員の増員)**が不可欠であると、問題提起しました。

公園での受動喫煙対策

公園等の「子どもが主たる利用者である場所」は、屋外であっても受動喫煙対策を徹底するよう、国がその考えを示しています。堺市は、受動喫煙防止を呼び掛ける啓発看板の設置を進めているものの、公園全体の4割程度に留まり、このペースでは設置完了まであと10年ほどかかりそうです。子どもは自ら受動喫煙を防止できません。簡易な看板であれば、それほど予算は必要ありません。早急な対策を求め、当局は「スピーディーに設置する」と表明しました。



虐待死の年齢別割合



市職員の昼休み

堺市役所の昼休みは12:00~12:45です。それを11:45~12:30と、12:30~13:15の2部制にすることを提案。12時を過ぎると混雑する堺東の飲食店。市役所は、堺東で群を抜いて人数の多い事業所です。その昼休みを、ラッシュタイムの前後にずらせば、ゆっくり食事が取れて職員もリフレッシュになります。交代制で(区役所以外の)窓口も閉めずに済み、市民サービスも向上します。さらには、**堺東の飲食店の回転率が上がり、地域経済にも貢献**できるのです。

